

第 57 回 (2012 年)

問 13 輸送物に関する次の記述のうち、放射線障害防止法上正しいものの組合せはどれか。

- A L型輸送物は、表面における1センチメートル線量当量率の最大値が5マイクロシーベルト毎時を超えないこと。
- B A型輸送物のうち、文部科学大臣の承認を受けたもの以外は、表面における1センチメートル線量当量率の最大値が2ミリシーベルト毎時を超えないこと。
- C A型輸送物のうち、専用積載としないで運搬するものは、表面から1メートル離れた位置における1センチメートル線量当量率の最大値が2ミリシーベルト毎時を超えないこと。
- D BM型輸送物は、文部科学大臣の定める特別の試験条件の下に置くこととした場合、表面から1メートル離れた位置における1センチメートル線量当量率の最大値が10ミリシーベルト毎時を超えないこと。

1 ABCのみ    ② ABDのみ    3 ACDのみ    4 BCDのみ    5 ABCDすべて

問 14 次のうち、液体状の放射性同位元素等の廃棄の方法として、放射線障害防止法上定められているものの組合せはどれか。

- A 焼却炉において焼却すること。
- B 排水設備において、浄化し、又は排水すること。
- C 廃棄物埋設を行うこと。
- D 固型化処理設備においてコンクリートその他の固型化材料により固型化すること。

1 ABCのみ    ② ABDのみ    3 ACDのみ    4 BCDのみ    5 ABCDすべて